

カウントダウン（残日計） & カウントアップ（経過日計）

2012/02/02 更新

- ◆日本標準電波を受信して時刻を校正
- ◆電波不感時は高精度発振モジュールの内部時計で運用可能
- ◆アンテナモジュールは福島（東日本）と福岡（西日本）の2つを用意LANケーブルで最大50mまで延長可能 LANケーブルはストレート/全線接続タイプを使用
- ◆停電時などのバグアップとしてバッテリー内蔵
- ◆日本国内専用です。電波を利用していますので一部地域、設置場所（地下、鉄筋ビル、ノイズの多いところ）によっては正確に動かない可能性があります。



寸法と重量



本体 横幅：430mm 高さ：230mm 奥行き：75mm（突起物を除く） 重量：4kg
アンテナ 横幅：125mm 高さ：40mm 奥行き：70mm（突起物を除く） 重量 200g

7種類の表示モード

残日計（モード0）、時計表示（モード1）、カウント（モード2～6）任意値（モード7）

表示桁数

3桁 残日計（モード0）以外のモードで使用する場合は下三桁を表示

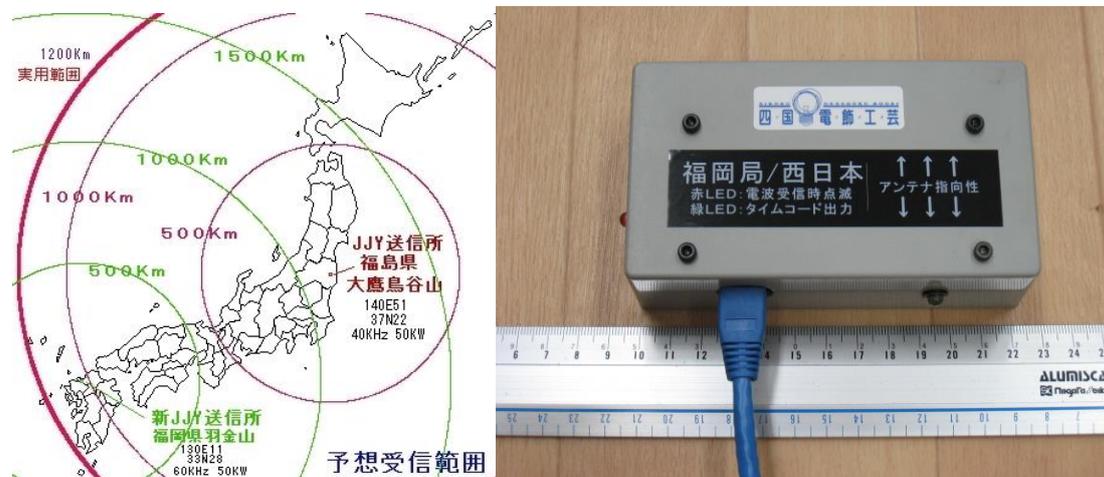
イベントなどで便利な任意値（モード7）

電波が一時的にも受信できない場合は時間を校正することができません。ただし、事前に校正しておけばある程度の時間は内臓バッテリーで時刻を保持します。当日イベント会場でスタートできない場合は任意値（モード7）へ残日数を設定して電源を投入すると最悪の事態を回避することができます。

電波時計アンテナ

電波を受けるちょっとしたコツ。電波時計の電波は長波の40kHz（福島送信所）または60kHz（福岡送信所）で、「標準電波」や「時報局」と呼ばれ多くの放送局等がこの電波を利用して時刻を校正しています。長波を受信するには「蛍光灯からアンテナが離れている」、「パソコンやディスプレイから離れている」、「福島、または福岡へアンテナを向けている」、「地下やノイズの多い場所でない」などの条件をクリアする必要があります。

送信所とアンテナの指向性図



設定スイッチの説明

液晶画面下に配置 向かって左より ①（赤） / ②（青） / ③（白） / ④（赤）

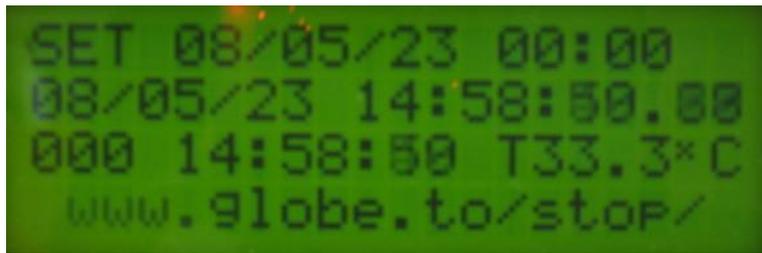
- ①：メニュー切り替え
- ②：青桁（項目）切り替え
- ③：紫値設定（変更）
- ④：実働現場では使用しないこと（設定の初期化）



LEDモニター

液晶画面左に配置 赤色：1秒点滅 緑色：アンテナとの通信（点滅）

液晶画面とメニューの説明



1行目は、設定した目標日時を表示しています。

2行目は、時計表示で年から1/100秒まで表示しています。

3行目がメニュー画面で、

ノーマル状態では、残り日数3桁と残り時間と温度を表示しています。

スイッチ①を押すごとに

目標日時設定

↓

任意6桁数の値設定

↓

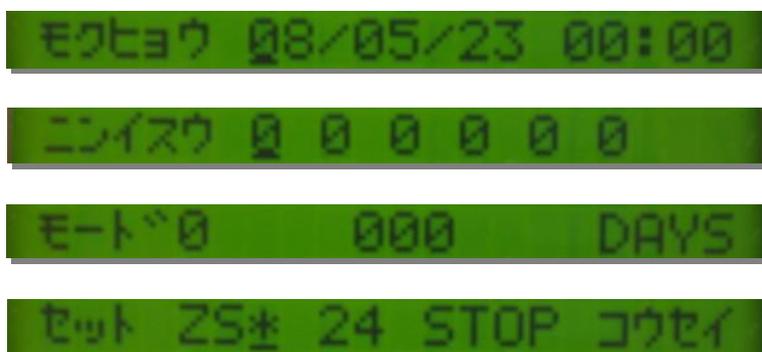
表示モード設定

↓

その他(ゼロサプレス, 12or24, カウントアップ時の停止と通過, 時刻校正)

↓

ノーマル状態 を繰り返すようになっています。



目標日時設定

スイッチ②で桁(カーソル)が移動し、スイッチ③で 値を変更します。

00 日や、25 時などのあり得ない値は設定しないで下さい。

任意6桁数の値

スイッチ②で桁(カーソル)が移動し、スイッチ③で 値を変更します。

表示モード設定： 7セグメント出力の切り替え設定。液晶画面の表示は変わりません。

スイッチ③を押すごとにモードが変化します。

モード0：残日計 3桁

モード1：時計表示

モード2：残日計3桁と気温表示

モード3：日・時・分 各2桁

モード4：時・分・秒 各2桁

モード5：分・秒・ミリ秒 各2桁

モード6：秒・ミリ秒 各2桁

モード7：任意6桁数表示 と切り替わります。

その他

スイッチ②で桁(カーソル)が移動し、スイッチ③で 値を変更します。

コウシンについてはスイッチ③を押しても表示は変わりませんが更新されます。

ただし、**全てはノーマル表示状態に戻した時に実行(更新)されます。**

メニュー → その他 → Z S (ゼロサプレス) の設定

ゼロサプレス(上位ゼロを表示・デフォルトは表示)になっていますので【001】でなく【1】と表示させたい場合は、ゼロサプレス(Z S)をON(*マーク)を点灯させてください。設定後はスイッチ①でノーマル状態へ戻すと設定を完了します。

メニュー → その他 → 24/12(時間モード)の設定

通常は24時間モードでご使用ください。12時間モードの場合、午前/午後の表示はできません。

メニュー → その他 → PASS/STOPの設定

通常、残日計として使用する場合は「STOP」を設定。「PASS」を設定した場合は目標日時を基準に経過値を表示します。ただし、翌日が【1】となりますのでご注意ください。当日を【1】としてカウントアップしたい場合は【0】となった日に目標日時設定で前日を指定することで当日を【1】として表示させることができます。

メニュー → その他 → コウシンの設定

コウシンについては、スイッチ③を押しても表示は変わりません。スイッチを押した後に①スイッチを押してノーマル表示状態に戻して時点で更新が完了します。ご注意ください。

注意) 設定を変更した場合には、ノーマル表示状態に戻した時に記憶素子に記憶して保存されますが、記憶素子への書き込みや、更新は時間に同期しながら実行されます。しかし、どちらの処理にも時間がかかり、設定を変更した時点で実際の時刻より1秒遅れる事があります。そのままにしておいても次の正分で自動修正されます。

はじめの設置

本体にバッグアップ用バッテリー（充電式）が内蔵されているため電源を接続しない状態でも液晶が表示されている場合があります。アンテナを設置後、電源を接続してもアンテナ部の赤色LEDが点滅しない状況下では時刻の校正ができないので高精度内部時計を利用してそのままお使い頂く事をお勧め致します。※本機は電波を受信できる環境下でないと時刻の校正ができません。誤って本機の時刻を失った場合は電波を受信できる場所で一度校正しバッグアップバッテリーが切れる前に設置することで対応することができます。

- ①本体とアンテナを専用のLANケーブルで接続して本体に電源を供給する
- ②表面の7セグメントLEDが点灯
- ③アンテナ部にある赤色LEDが点滅する位置へ設置
アンテナは局方向へ指向性を向ける。その他注意点を参考に設置
- ④目標日時の設定 残日確認
- ⑤運用開始

目標日時設定の注意点

現在の時刻が16時 目標日時を明日の0時とした場合、残日時は、000日08時00分00秒となります。液晶画面上では000日となりますが実際は残時間が8時間ありますので表面の7セグメント表示機は【1】または【001】と表示されます。目標時間に達すると表示機は【0】となります。設定後はカレンダー等で残日を確認して表示とあっているか確認してください。

電波時計の電波は、時々メンテナンス当で送信を停止する事があります。

下記総務省JJYのホームページにて送信状態の確認が出来ます。

JJYのホームページ[停波情報等] <http://jyy.nict.go.jp>

[40KH標準電波送信情報] <http://jyy.nict.go.jp/i/mess40.htm>

[60KH標準電波送信情報] <http://jyy.nict.go.jp/i/mess60.htm>



〒780-0991 高知県高知市宗安寺 591-1

電話:(088)843-1601 携帯:090-3041-6033

WebSite: <https://shikokudenshokukogei.jp/> E-Mail: info@shikokudenshokukogei.jp